

泉大津市都市公園施設長寿命化計画

泉大津市都市公園施設長寿命化計画

目 次

1 . 都市公園施設長寿命化計画策定の目的	1
2 . 都市公園施設長寿命化計画の対象公園	1
3 . 計画対象公園の維持管理状況	2
4 . 健全度を把握するための点検調査結果の概要	2
5 . 日常的な維持管理に関する基本的方針	2
6 . 公園施設の長寿命化のための基本方針	3
7 . 都市公園個別の健全度調査結果、長寿命化に向けた 具体的対策、対策内容・時期など	3
8 . 計画全体の長寿命化対策の実施効果	3

1. 都市公園施設長寿命化計画策定の目的

老朽化が進行している公園施設に対し、公園利用者の安全性確保、施設の維持管理に関するコストの縮減および改築・修繕費用の平準化を図る観点から、公園施設に対する適切な施設点検や計画的な修繕、改築、更新等を行う“予防保全型管理”を推進する長寿命化計画を策定し、既存ストックの長寿命化を図り、より高い安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図ることを目的とする。

2. 都市公園施設長寿命化計画の対象公園

都市公園整備状況

(平成27年3月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
62所	228,800 m ²	2.9 m ² /人

計画期間

平成28年度～平成37年度(10箇年)

計画対象公園数

1)種別別個所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩衝	都緑	その他	合計
52	8	1								1		62

2)対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
-	-	11	241	-	-	9

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
-	-	-	261

3. 計画対象公園の維持管理状況

- ・経過年数

最も長いものは59年を経過しており、もっとも新しい公園は開設後2年までの幅があり、施設の状況は、劣化度c以上が87施設、33.3%に達し、うちdレベルが7%を上回る状況にある。

- ・維持管理

通常の定期点検に加え、健全度調査を定期的に行っている。

- ・今後の可能性

非常に長期間利用されている施設が多く、ハザードの高い施設も半数を上まわり、補修、更新を早急に対処すべきものが多い。便益施設の更新は、長期的に対応が求められている。

4. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

- ・点検を計画直前に実施し、現状の最新の状況を把握できるタイミングで実施した。

- ・点検方法は、都市公園における遊具の安全確保に関する指針（国交省H24年）等によって実施した。

- ・設置後の経過年数が処分制限期間を超えて利用されている施設が多く、c・d判定の施設は、87施設、うち、緊急に措置が必要な施設が19施設、7.4%に達する。比較的健全なb以下は171施設（約66%）となる。便益施設も早急に対応する施設が2施設となる。

5. 日常的な維持管理に関する基本的方針

- ・法に定める点検は有資格者によって実施してきた。

- ・市が行う日常的な安全点検を定期的に行ってきた。

- ・清掃美化等は、住民との共同を進めており、今後は不具合に気付いた場合の情報提供をいただく仕組みを整備し、安全確保に資するため軽度な補修等に対応する。

6. 公園施設の長寿命化のための基本方針

- ・緊急度の高いハザード・3の解消をもっとも優先し、合わせて劣化度の進んでいる施設を早期に更新する対策を図る。

- ・後半は、比較的新しい施設に対しても長寿命化のための定期的な維持管理（補修）を充実させる。

7. 都市公園個別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期など

- ・ 計画初期の 3 年間で、劣化度 d の施設の更新、およびハザード・3 の解消に取り組む。ハザード・2 以下への対応は更新時に対応し解消する。
- ・ 建築施設では老朽化している便所 1 箇所を 28 年に更新、続いて 29 年に優先度の高い 1 箇所を更新する。その他の施設は順次補修、更新で対応する。更新するトイレはすべて多目的トイレを整備し、バリアフリー、ノーマライゼーションに対応する。

8. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

・ 遊具・一般施設	1,264 千円/年
・ 建築施設	-20 千円/年
合計	1,244 千円/年